

| 会 議 録 | | | | |
|------------------------------------|-------------------|---|--------|--------------------------|
| 平成28年度第3回 生活支援事業協議体 | 日 時 | 平成28年12月13日(火) 14時00分～16時00分 | 場 所 | 小金井市役所 第2庁舎 801会議室 |
| 事務局 | 小金井市福祉保健部介護福祉課 | | | |
| 出 席 者 | 委 員 | 高良委員長（東京学芸大学） 近江屋委員（ボランティアセンター） 阿久津委員（地域福祉コーディネーター） 清水委員（民生委員児童委員協議会） 高橋委員（さくら体操リーダー） 第2層コーディネーター 恩田氏（小金井きた地域包括支援センター） 中川氏（小金井きた地域包括支援センター） 金子氏（小金井ひがし地域包括支援センター） 中村氏（小金井みなみ地域包括支援センター） 馬場氏（小金井みなみ地域包括支援センター） 雨宮氏（小金井にし地域包括支援センター） | | |
| | 事務局 オブザ ーバー | 鈴木高齢福祉担当課長、本木包括支援係長、松原、所（介護福祉課） 大淵先生（東京都健康長寿医療センター） | | |
| 傍聴の可否 | ◎可 ・ 一部不可 ・ 不可 | 傍聴者数 | | |
| 傍聴不可・一部不可の場合の理由 | | | | |
| 次 第 | | | | |
| 1 開会 | | | | |
| 2 議題 | | | | |
| (1) 報告事項 | | | | |
| ① 「シニアのための地域とつながる応援ブック」のアンケート結果の報告 | | | | |
| ② 生活支援体制整備事業の他市の取り組みについて | | | | |
| ③ (仮称)「プラットフォームのがわ」について | | | | |
| ④ サブスタッフ養成事業について (大淵先生より) | | | | |
| (2) 協議事項 | | | | |
| ① 評価シートの作成について・目標設定と評価方法の検討 | | | | |
| ② にし地区の資源開発における展開方法の協議 | | | | |

③ コーディネーター業務についての課題や悩み

(3) 次回協議体の開催予定

3 その他

4 閉会

1 開会

2 議題

(1) 報告事項

① 「シニアのための地域とつながる応援ブック」のアンケート結果の報告
(事務局)

先日、民生委員の方たちにアンケートを依頼させていただき、45名の方々に御協力いただきました。ありがとうございました。

アンケートの内容ですが、今回は、冊子の満足度、見やすさと文字の大きさ、掲載されている情報量の3項目について、皆様の御意見を伺わせていただきました。

(1) の冊子の満足度についてですが、大変悪い、悪いは0人、普通が10人、よいが20人、大変よいが14人、未記入が1人でした。

(2) の見やすさ、文字の大きさにつきましては、大変悪いが0人、悪いが4人、普通が8人、よいが12人、大変よいが20人でした。

(3) 掲載されている情報量につきましては、大変悪いが1人、悪いが1人、普通が14人、よいが11人、大変よいが18人、未記入が1人という結果でございました。御意見を参考にさせていただき、より使いやすい冊子につくり上げていきたいと思っております。

② 生活支援体制整備事業の他市の取り組みについて

(事務局)

生活支援体制整備事業にかかわる情報交換会に先日参加し、他市の方々と情報交換をさせていただきました。

他市の状況をうかがったところ、平成27～28年度に生活支援事業を開始する市区町村が合計で50市町村と、全体の大半を占めております。

課題として、生活支援の関係者に対してはこちらの事業が周知されている一方で、利用者等やほかの関係機関等にはまだまだ周知が行き届いていないということが挙げられております。

(高良委員長)

私も他の自治体にいろいろお聞きしたところ、ようやくコーディネーターが決まったとか、協議体の設置が決まって、第1層はどうにか決まっているのだけれども、まだ実際に動いていないというところが多いので、小金井市さんは、かなり早くしっかりと第1層と第2層の協議体の役割について決められていらっしゃるという気がします。

③ (仮称)「プラットフォームのがわ」について

(事務局)

前回の協議体より、坂下の高齢者が買い物に行きづらいといった問題が出されておるかと思えます。解決案の1つとしまして、市民の方から「プラットフォームのがわ」という計画案を御紹介いただきました。事業の目的のところに、地域の人と能力を出し合い、自分たちが望む地域生活圏づくりを目指すということでして、生活支援事業としましても協力できることはないかと話を伺ってまいりました。

また、持たせたい機能としましては、喫茶・軽食機能といった、お年寄りが来て、ちょっとお茶ができるような機能でしたり、コンビニ機能や移動販売車駐車機能といった買い物ができる機能を持つ場所にしたいということでした。まだ着想段階であり、本日は、こちらを報告事項に入れさせていただきます。今後は買い物難民のこの問題について、解決できるような取り組み等がございましたら協議体で御紹介をさせていただきますと思っています。

(高良委員長)

何かこの段階で、こういうふうな機能をもうちょっと入れておいてほしいとか、ここはちょっと無理ではないとか、何か御意見がありましたら、お願いいたします。

(阿久津委員)

サロンに関しては、会費ということで、保健所とか、そういった部分は大丈夫なのですけれども、軽食ですと、保健所の申請は必要になるので、そういった最低限の準備は必要になるかと思えます。

(高良委員長)

保健所まで通していくとなると、なかなか難しいですね。

(近江屋委員)

ここまでやると、コミュニティーカフェみたいなお店になるのでしょうかね。

(高良委員長)

つまりそうなってくると、どこまで誰が実質的責任を負うかなどといった問題が出てくるかと思いますが、その辺をNPO法人化しようとか任意団体化しようと言われていていらっしゃるのでしょうか。

(事務局)

まず手始めとしまして、数名のコンサルを育成して、そういった方々が地域に出て、こういった活動をしていってくださるように、教育・人材育成をしていくというお話でした。

(馬場氏)

みなみエリアでも、前原1～2丁目あたりでは、C o C oバスがなかなか行き届かない場面もあるなど、坂下という地理的な問題もあって買い物がなかなか行きづらいというお話もありましたので、今回のこのようなお話を聞いて、前向きにそういう設置ができるところとかも考えていけたらと思いました。

④サブスタッフ養成事業について（大淵先生より）

サブスタッフ養成事業では、希望する市民の方々に集まっていただいて、約4ヶ月のサブスタッフ養成講習を受講してもらい、受講後はデイサービス事業所の中で、「サブ」のスタッフとして一緒に働いていただく取り組みをしております。

(高良委員長)

このサブスタッフの方々というのは、どのような方々を大体想定されていらっしゃるのでしょうか。

(大淵先生)

余り制限はしていなくて、市民であれば、ぜひお願いしたいです。

(高良委員長)

これは既に開始はされているのですか。

(大淵先生)

モデル的に、3つの事業所で開催しておりまして、今、1期目をつくり終わって、2期目に入っているところです。

(高良委員長)

生活支援コーディネーターの方々や、こちらの協議体として、御説明いただきましたサブスタッフ養成事業と、どう連携していけばいいのか御希望等がありましたら、お教えいただけると、連携しやすいと思うのですが、いかがでしょうか。

(大淵先生)

これからサブスタッフとして活動されるかたが出てまいりますので、こうした人たちも人材資源であるとコーディネーターの皆様に認識していただければと思います。

(高良委員長)

実際にやられる中で連携をしていけば、お互いのこの事業にとって何が一番効果的なのかというのが見えてくるのではないかと思いますので、また、何かありましたら、この協議体のところでも、お話をいただければと思います。

(2) 協議事項

①評価シートの作成にについて・目標設定と評価方法の検討

(高良委員長)

まずは評価シートにつきまして、私のほうでたたき台を作成致しましたが、実際に使用していただくにあたってコーディネーターの皆様の意見をお聞きしたいと思うのですがいかがでしょうか？

(中川氏)

地域課題分析評価シートで、矢印で順番を追って示してあるので、内容についてすごく整理しやすいと感じています。

(金子氏)

私も拝見して、すごく整理がしやすいということで、他の包括職員や地域の方に御説明するのもしやすいという気がいたしました。

(高良委員長)

粗々こんな感じのシートでいいということで、内部で実際にどこまで書くのかということに関しては後日確認をしていただいて、来年度からの使用に向けて、準備をしていただくということよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。

②にし地区の資源開発における展開方法の協議

(雨宮氏)

小金井にし地域包括支援センターでは、28年10月20日に、小地域ケア会議・生活支援第2層協議体の会議を実施いたしました。

参加者の方々は、町会長、自治会長、地域住民、民生委員、介護事業所、今回は、医師、歯科医師、薬剤師の方々に御参加いただきました。鍼灸接骨院、シルバー人材センター、ファシリテーター、地域福祉コーディネーター、小金井市介護福祉課、社会福祉協議会、権利擁護センター等、60名の方に御参加いただきました。応援ブックにより、地域の情報を共有できたということ、写真紹介は目で見ること、具体的にわかりやすかった、他地域の活動がよくわかった、社会資源が多くあることに気づいた、居場所や働ける場所、ボランティアに行ける場所にもなり得るなどの御意見をいただきました。

28年度のにし包括のエリアの課題としましては、居場所というところが挙がってきましたので、この居場所についての取り組みを実施してまいりました。結果、にしエリアで、各地域に1カ所以上の歩いて行ける居場所ができ上がりました。今後につきましては、各地域の社会資源を引き続き調査をしてまいります。

今回の協議なのですけれども、この応援ブックの活用方法について、何か皆様からアイデアがありましたら、教えていただけたらと思います。

(高良委員長)

何か御質問ご意見等がありましたら、お願いいたします。

(近江屋委員)

この会議に参加させていただいて、お医者さんとかも話していたので、十分な情報がここで出てきたので、よかったと思いました。

(高橋委員)

この居場所のところで、居場所は働ける場所、ボランティアに行ける場所でもなり得るとあるのですけれども、市のほうでここを大きくピックアップして、とても価値のあることで楽しく、人の役に立つことですよというイメージで、コマースシャルしていただけるのはすごくいいのではないかと思います。

(高良委員長)

応援ブックの活用方法について、何かありましたら、お願いします。

(恩田氏)

ケアマネジャーさんが、何度かくださいとお越しになった例がありますし、薬局とか、病院の相談員の方も関心が高いので地域の薬局に配りに行きました。

(雨宮氏)

薬局さんとか、待合室においていただくのもいいかと思います。にしエリアも早速させていただきたいと思います。

③コーディネーター業務についての課題や悩み

(高良委員長)

コーディネーター業務をされている中で、これが困っているのだとか、これは知らないとか、何かありましたら、この協議体の場をかりて、お互いに話し合いができればと思いますので、いかがでしょうか。

(馬場氏)

今回、前原町に居場所づくりを進めるというお話が昨年から出ていまして、何度か町会長さんや民生委員さんとお話し合いの場をもってまいりました。そこで、市内にある整骨院さんの待合室をお借りができるというお話でしたので、最初に場所を探してから地域の方たちと集まって活用方法などのお話し合いを進めてきました。

しかし、話し合いを進めていく中で、地域の方が思っている整骨院に対しての印象というのが、こちらが思っている印象と差があるなどといった問題が出てまいりました。

現在は天神前集会所で月に1回活動を11月からできるというお話を伺えたのですが、地域の方の実際のお声というのを拾い上げるということが大変難しいと実感しております。

(高良委員長)

どこまで生活支援コーディネーターの方が関与するのは、難しい問題だと思います。公の場であれば、余り支障がないということになるのだと思いますが、一方で一般の方のお宅をやるというそういうものも選択肢であると思います。他にも機会がありましたら、そういった困り事等がありましたら、皆さんで検討できればと思います。

(清水委員)

応援ブックの正式版はいつごろできる予定というか、スケジュールは決まっていますか。

(事務局)

来年度の大体8月ごろを予定しているのですが、できる限り皆さんのお手元に、早い段階でお渡しできればとは思っております。

(3) 次回協議体の開催予定

平成29年3月7日午後2時から午後4時で決定

4 閉会